

# 調査結果の概要

# I 耕地面積及び耕地の拡張・かい廃面積

## 1 耕地面積（田畑計）

(1) 平成18年7月15日現在の全国の耕地面積（田畑計）は467万1,000haで、前年に比べて2万1,000ha（0.4%）減少した。これは、平成16年の台風第23号、同年の新潟県中越地震等による自然災害からの復旧等があったものの、宅地等への転用、耕作放棄等のかい廃があったためである。

近年のかい廃面積は、平成7年の5万300haを最高に、その後減少傾向で推移している。

（図1）

(2) 水田率は54.4%で、前年に比べて0.1ポイント低下した。全国農業地域別にみると北陸が89.7%で最も高く、次いで近畿の77.6%、中国の76.8%の順となっている。（表1）

(3) 耕地率は12.5%で、前年に比べて0.1ポイント低下した。全国農業地域別にみると沖縄が17.2%で最も高く、次いで関東・東山の15.2%、北海道の14.9%の順となっている。（表1）

表1 平成18年田畑別耕地面積（全国農業地域別）

全国農業地域	計			田			畑			水田率	耕地率
	面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較			
		対差	対比		対差	対比		対差	対比		
	%			%			%				
全 国	4 671 000	△ 21 000	99.6	2 543 000	△ 13 000	99.5	2 128 000	△ 8 000	99.6	54.4	12.5
北 海 道	1 166 000	△ 3 000	99.7	226 800	△ 900	99.6	938 800	△ 2 200	99.8	19.5	14.9
東 北	880 500	△ 3 500	99.6	628 500	△ 2 700	99.6	251 900	△ 900	99.6	71.4	13.2
北 陸	322 400	△ 600	99.8	289 200	△ 700	99.8	33 200	0	100.0	89.7	12.8
関東・東山	768 300	△ 4 400	99.4	425 700	△ 3 400	99.2	342 600	△ 1 000	99.7	55.4	15.2
東 海	279 800	△ 1 700	99.4	165 200	△ 1 100	99.3	114 600	△ 700	99.4	59.0	9.5
近 畿	238 900	△ 800	99.7	185 400	△ 800	99.6	53 600	100	100.2	77.6	8.7
中 国	256 600	△ 1 600	99.4	197 000	△ 1 500	99.2	59 600	△ 100	99.8	76.8	8.0
四 国	150 100	△ 900	99.4	94 900	△ 300	99.7	55 300	△ 500	99.1	63.2	8.0
九 州	570 000	△ 3 600	99.4	329 500	△ 1 600	99.5	240 500	△ 2 000	99.2	57.8	13.5
沖 縄	39 200	△ 100	99.7	874	△ 3	99.7	38 400	△ 100	99.7	2.2	17.2

注：1 水田率は、耕地面積（田畑計）のうち、田面積が占める割合（%）である。

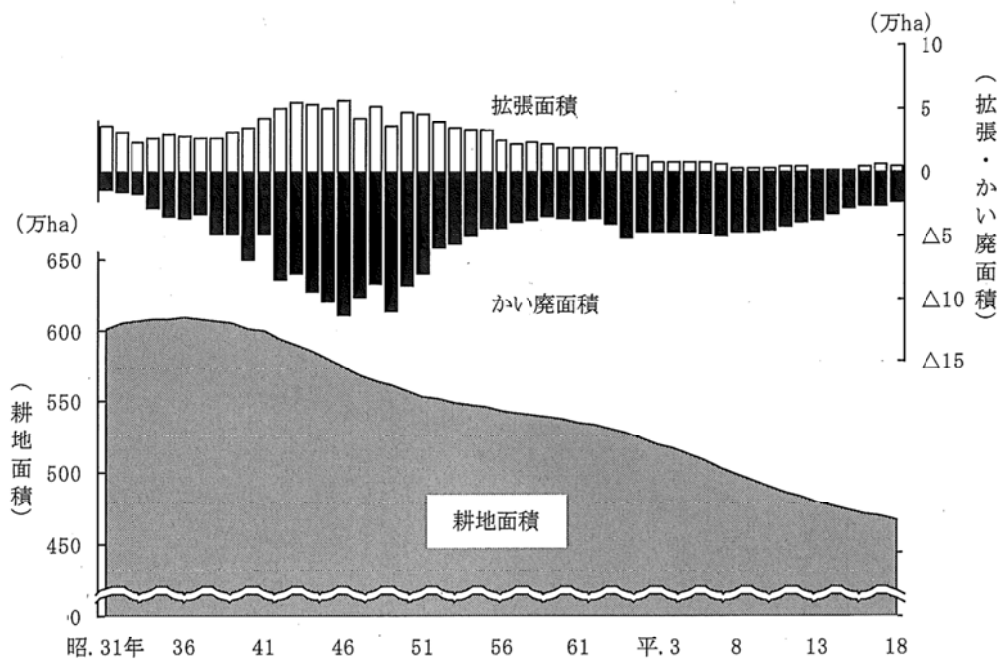
2 耕地率は、総土地面積のうち、耕地面積（田畑計）が占める割合（%）である。

なお、この総土地面積は、国土交通省国土地理院「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」による。

(4) 耕地面積の動向をみると、30年代初めは増加傾向で推移したが、36年の608万6,000haを最高にその後年々減少し、41年には599万6,000haと600万haを下回った。その後も高度経済成長のもと、宅地等への転用が大幅に増加したことなどから減少幅が大きくなったが、50年代に入ると、耕地面積の減少は40年代に比べ緩やかになった。

平成元年以降は、増加要因である開墾等が減少する一方で、減少要因である宅地等への転用や耕作放棄等によるかい廃は継続的に発生しているために減少幅が大きくなり、8年には499万4,000haと500万haを下回った。その後、減少率は鈍化しているものの耕地面積は減少を続けており、平成18年は467万1,000haとピークであった昭和36年に対して76.7%となっている。（図1）

図1 耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



2 田耕地面積

(1) 平成18年7月15日現在の田耕地面積は254万3,000haで、前年に比べて1万3,000ha (0.5%) 減少した。全国農業地域別に減少面積をみると、関東・東山が3,400haで最も大きく、次いで東北の2,700ha、九州の1,600haの順となっている。(表1)

(2) 田の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は1,770haで、前年に比べて1,310ha増加した。これは、平成16年の台風第23号、同年の新潟県中越地震等による自然災害からの復旧があったためである。(表2)

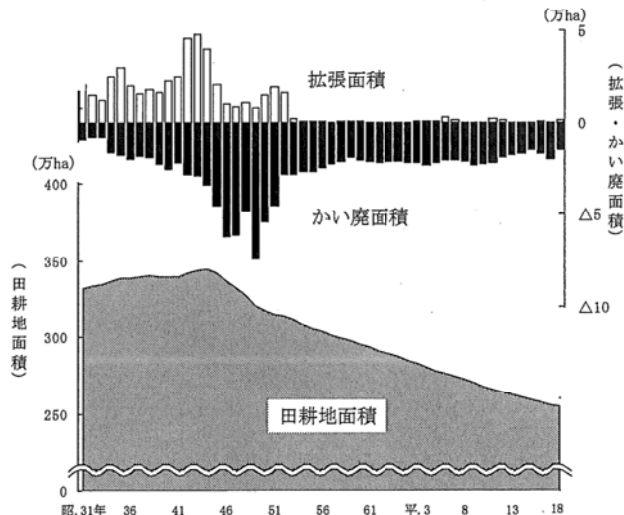
一方、かい廃面積は1万4,800haで、前年に比べて5,000ha減少した。これは、主に自然災害の発生が前年に比べて少なかったためである。(表3)

近年のかい廃面積は、自然災害の影響等により平成16年及び17年で増加が見られたものの、9年の2万3,100haを最高にその後減少傾向で推移している。(図2)

表2 平成18年田の拡張面積(全国農業地域別)

全国農業地域		拡張(増加要因)				
		計	開墾	干拓・埋立て	復旧	田畑転換
全国	計	1 770	33	-	1 660	80
	対前年差	1 310	32	-	1 400	△123
北海道		2	-	-	-	2
東北		53	-	-	15	38
北陸		549	-	-	513	36
関東・東山		8	7	-	-	1
東海		96	1	-	95	-
近畿		821	-	-	821	-
中国		-	-	-	-	-
四国		206	2	-	204	-
九州		27	19	-	8	-
沖縄		7	4	-	-	3

図2 田耕地面積と拡張・かい廃面積の推移



(3) 田耕地面積の動向をみると、40年代前半まで増加傾向であったが、44年の344万1,000haを最高にその後減少傾向で推移し、平成18年は254万3,000haとピークであった昭和44年に対して73.9%となっている。これは、米の生産調整の実施により開墾等が抑制され、畑への転換が行われたとともに、宅地等への転用、耕作放棄等のかい廃が継続的に発生しているためである。(図2)

表3 平成18年田のかい廃面積(全国農業地域別)

単位: ha

全国農業地域	計	か い 廃 ( 減 少 要 因 )									田畑 転換	
		自然 災害	人 為 的									
			小計	工場 用地	道路・鉄道 用地	宅地等	農林道等	植林	その他	耕作放棄		
全国	計	14 800	41	10 100	695	966	4 450	307	188	3 510	3 010	4 690
	対前年差	△ 5 000	△ 2 520	△ 700	4	28	330	36	16	△ 1 110	△ 10	△ 1 150
北海道		968	-	251	5	12	72	57	-	105	63	717
東北		2 720	-	1 720	119	295	598	54	14	639	454	3970
北陸		1 220	3	907	78	165	424	29	16	195	155	1000
関東・東山		3 400	-	1 950	106	120	931	38	7	751	728	307
東海		1 170	-	923	57	54	545	11	19	237	216	1440
近畿		1 630	-	1 380	119	84	592	52	30	499	376	249
中国		1 510	10	990	78	69	441	20	32	350	317	253
四国		524	0	466	19	37	293	11	13	93	89	511
九州		1 690	28	1 510	114	130	550	35	57	628	599	58
沖縄		10	-	10	-	-	-	-	-	10	10	149

注: 対前年差の計と内訳の積上げ値が一致していないのは、統計数値の四捨五入以外に、平成17年調査において、母集団である単位区の状況が単位区編成時に比べ大きく変化している地帯を重点的に、一筆ごとに田畑別の地目と面積の現地確認等を行った結果、変化が明らかになった面積を計に含めたためである。(以下、表4及び表5において同じ。)

### 3 畑耕地面積

(1) 平成18年7月15日現在の畑耕地面積は212万8,000haで、前年に比べて8,000ha(0.4%)減少した。全国農業地域別に減少面積をみると、北海道が2,200haと最も大きく、次いで九州の2,000ha、関東・東山の1,000haの順となっている。(表1)

(2) 畑の拡張・かい廃面積をみると、拡張面積は6,910haで、前年に比べて3,890ha減少した。これは、主に田からの転換が減少したためである。(表4)

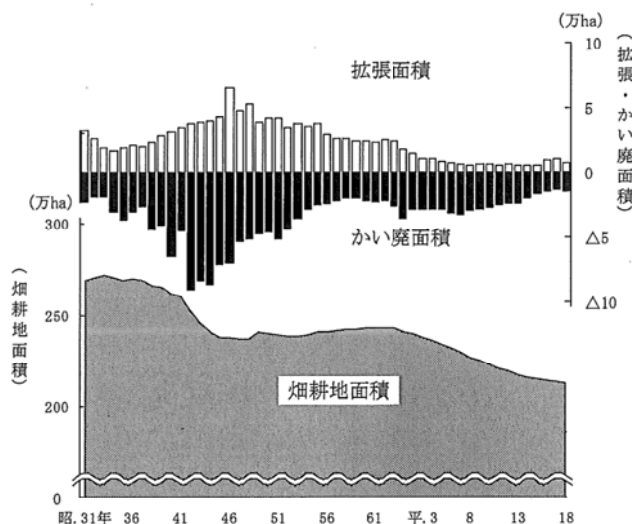
一方、かい廃面積は1万4,200haで、前年に比べて400ha増加した。これは、主に宅地等への転用、耕作放棄等が増加したためである。

なお、かい廃面積のうち耕作放棄面積は8,440haで、これを全国農業地域別にみると北海道が2,860haで最も多く、次いで九州の1,420ha、東北の1,280haの順となっている。(表5)

表4 平成18年畑の拡張面積(全国農業地域別)

図3 畑耕地面積と拡張・かい廃面積の推移

全国農業地域	計	拡 張 ( 増 加 要 因 )				田畑 転換
		開墾	干拓・ 埋立て	復旧		
					田畑 転換	
全国	計	6 910	2 080	-	140	4 690
	対前年差	△ 3 890	△ 150	-	1	△ 1 150
北海道		1 400	678	-	-	717
東北		1 190	187	-	0	1 000
北陸		333	26	-	0	307
関東・東山		1 820	288	-	92	1 440
東海		378	101	-	28	249
近畿		333	72	-	8	253
中国		695	184	-	-	511
四国		252	183	-	11	58
九州		258	108	-	1	149
沖縄		253	253	-	-	-



近年のかい廃面積は、平成7年の3万2,100haを最高に、その後減少傾向で推移していたが、18年は増加した。(図3)

(3) 畑耕地面積の動向をみると、33年の271万9,000haを最高に、34年以降は減少傾向で推移し、40年代前半は田や宅地等への転換、植林等により減少幅が大きくなり、45年には240万haを下回った。その後、53年から62年にかけて田への転換の抑制等により増加傾向で推移し、62年には243万haとなった。しかし、63年以降は開墾等の拡張が大幅に減少した一方で、かい廃は継続的に発生しているために再び減少傾向となり、平成18年は212万8,000haとピークであった昭和33年に対して78.3%となっている。(図3)

表5 平成18年畑のかい廃面積(全国農業地域別)

全国農業地域	かい廃(減少要因)										田畑 転換
	計	自然 災害	人為							耕作放棄	
			小計	工場 用地	道路・鉄道 用地	宅地等	農林道等	植林	その他		
全国	14 200	11	14 100	442	522	3 430	461	438	8 840	8 440	80
対前年差	400	△ 76	600	△ 33	125	310	△ 41	△ 132	420	370	△ 123
北海道	3 600	-	3 600	27	104	197	217	77	2 980	2 860	2
東北	2 020	-	1 990	42	107	362	27	54	1 390	1 280	38
北陸	335	-	299	11	22	101	3	9	153	113	36
関東・東海	2 840	-	2 840	188	99	1 470	51	57	973	923	1
東海	1 030	-	1 030	39	26	514	10	27	416	388	-
近畿	259	-	259	12	18	90	2	12	125	111	-
中国	761	0	761	32	23	179	27	18	482	470	-
四国	812	1	811	17	20	78	15	27	654	648	-
九州	2 200	9	2 190	70	69	376	85	157	1 430	1 420	-
沖縄	361	1	357	4	34	67	24	-	228	226	3

(4) 畑耕地面積を種類別にみると、普通畑が117万3,000ha、樹園地が32万8,300ha、牧草地が62万7,400haとなっており、これを前年と比較すると普通畑は前年並み、樹園地は4,000ha(1.2%)、牧草地は3,200ha(0.5%)それぞれ減少した。(表6)

畑種類別の面積割合は、普通畑が55.1%、樹園地が15.4%、牧草地が29.5%となっている。(表6)

表6 平成18年畑種類別面積(全国農業地域別)

全国農業地域	計			普通畑			樹園地			牧草地		
	面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較		面積	前年との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比		対差	対比
全国	2 128 000	△ 8 000	99.6	1 173 000	0	100.0	328 300	△ 4 000	98.8	627 400	△ 3 200	99.5
(構成比%)	(100.0)			(55.1)			(15.4)			(29.5)		
北海道	938 800	△ 2 200	99.8	412 400	200	100.0	3 360	△ 80	97.7	523 000	△ 2 400	99.5
東北	251 900	△ 900	99.6	135 000	0	100.0	52 700	△ 300	99.4	64 300	△ 500	99.2
北陸	33 200	0	100.0	25 000	200	100.8	5 840	△ 60	99.0	2 290	△ 190	92.3
関東・東海	342 600	△ 1 000	99.7	276 100	△ 300	99.9	56 100	△ 700	98.8	10 300	△ 200	98.1
東海	114 600	△ 700	99.4	62 300	△ 200	99.7	49 400	△ 400	99.2	2 970	△ 60	98.0
近畿	53 600	100	100.2	17 900	△ 100	99.4	35 000	100	100.3	581	1	100.2
中国	59 600	△ 100	99.8	37 200	500	101.4	18 800	△ 600	96.9	3 610	△ 40	98.9
四国	55 300	△ 500	99.1	17 000	300	101.8	37 600	△ 900	97.7	658	△ 1	99.8
九州	240 500	△ 2 000	99.2	159 100	△ 700	99.6	67 500	△ 1 100	98.4	14 000	△ 100	99.3
沖縄	38 400	△ 100	99.7	30 700	△ 300	99.0	2 000	10	100.5	5 680	230	104.2